

## 庄内交通 路線バス

### 「湯田川・坂の下・越沢線」の変更について

現在、湯田川および田川地内を運行しております下記路線バスを安全にかつ継続的に運行をするため、一部運行経路の変更とバス停留所の位置変更を実施いたします。

なお、運行経路・バス停留所等の変更に伴う運賃の変更はありません。運行経路変更に伴い、運行時刻は一部変更となります。(別紙参照)

#### 1. 対象路線

- |                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| ① 鶴岡(稻生)湯田川温泉線  | ④ こころの医療センター(稻生)湯田川温泉線  |
| ② 鶴岡(湯田川温泉)坂の下線 | ⑤ こころの医療センター(湯田川温泉)坂の下線 |
| ③ 鶴岡(湯田川温泉)越沢線  | ⑥ こころの医療センター(湯田川温泉)越沢線  |

#### 2. バス停留所

	バス停留所名	変更内容
①	湯田川口(往路・復路)	位置の変更
②	湯田川公園前(往路)	変更なし(復路も同一バス停となる)
③	湯田川公園前(復路)	廃止→往路と同一バス停となる
④	湯田川温泉(往路)	位置の変更
⑤	湯田川温泉(復路)	廃止→往路と同一バス停となる
⑥	町田川(往路・復路)	国道 345 号線沿いへ移設
⑦	中河原(往路・復路)	廃止

#### 3. 運行経路変更区間

※湯田川温泉内、路線バスは時計回り一方通行となります



#### 4. 変更日 : 令和 7 年 12 月 1 日 (月) より

## (1) 令和8年度地域内フィーダー系統確保維持計画の変更について

## ①計画の趣旨

「地域内フィーダー系統確保維持計画」は、地域の実情に応じた生活交通の確保維持を目的とした『地域公共交通確保維持事業』を受けるために必要な計画です。「地域内交通の運行」への支援を目的に策定するものであり、国の支援を受ける路線や、利用者数などの目標、そのための事業者、事業の効果などを定めます。本計画を策定することにより、生活交通路線の維持・確保や車両更新のための国の補助金の交付を受けることが可能となります。

※地域間幹線系統（自治体間を結ぶ路線）か羽越本線に接続するバス系統をフィーダー系統と呼んでいます。

## ②計画の変更点

報告事項1のとおり、庄内交通路線バス「湯田川・坂の下・越沢線」において、令和7年12月1日より運行ルートの変更等が生じるため、各路線のキロ程等に変更が生じます。

また、「こころの医療センター（湯田川温泉）坂の下線」を主系統、「鶴岡（湯田川温泉）坂の下線」を副系統としておりましたが、今回の運行ルートの変更により、「鶴岡（湯田川温泉）坂の下線」のキロ程が長くなることに伴い、「鶴岡（湯田川温泉）坂の下線」を「こころの医療センター（湯田川温泉）坂の下線」と別にし、単独の系統といたします。これに伴い、他系統の申請番号を変更しております。

## ○ 鶴岡（湯田川温泉）越沢線

	キロ程	運行回数
当初	往路 34.3km 復路 34.1km	1,092.0 回
<b>変更後</b>	<b><u>往路 35.0km</u></b> <b><u>復路 34.8km</u></b>	<b><u>変更なし</u></b>

## ○ こころの医療センター（湯田川温泉）坂の下線

	キロ程	運行回数
当初	往路 20.8km 復路 20.5km	357.0 回
<b>変更後</b>	<b><u>往路 21.5km</u></b> <b><u>復路 21.2km</u></b>	<b><u>238.0 回</u></b>

※運行回数の変更は、鶴岡（湯田川温泉）坂の下線を別系統とすることに伴い、鶴岡（湯田川温泉）坂の下線の運行回数分を当初の運行回数から減じたものです。

○ 鶴岡(湯田川温泉)坂の下線

	キロ程	運行回数
当初	記載なし	記載なし
<u>変更後</u>	<u>往路 18.2km</u> <u>復路 18.0km</u>	<u>119.0 回</u>

※当初、こころの医療センター(湯田川温泉)坂の下線の副系統であるため地域内フィーダー系統確保維持計画の一覧には掲載されておりましたが、キロ程の延長に伴い単独の系統に変更となります。

なお、キロ程延長前は、往路 17.5 k m、復路 17.3 k m、運行回数 119.0 回で運行しておりました。

○ 鶴岡(稲生)湯田川温泉線

	キロ程	運行回数
当初	往路 10.0km 復路 9.8km	1,020.0 回
<u>変更後</u>	<u>往路 9.9km</u> <u>復路 10.1km</u>	<u>変更なし</u>

○ こころの医療センター(稲生)湯田川温泉線

	キロ程	運行回数
当初	往路 13.3km 復路 13.0km	186.0 回
<u>変更後</u>	<u>往路 13.2km</u> <u>復路 13.3km</u>	<u>変更なし</u>

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者(地域内フィーダー系統)

R8年度

市区町村名	運送予定者名	運行系統名等 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	利便 増進 特例 措置	運送 継続 特例 措置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7・別表9・別表10)			
			起点	経由地	終点						運行態様の別	基準ハで該 当する要件 (別表7・9)	補助対象地域間幹 線系統等と接続の 確保	基準ホで該 当する要件 (別表7のみ)
鶴岡市	庄内交通 株式会社	(1) 鶴岡(物産館)温海線	エスモール	庄内観光物産館	温海営業所	往 41.0 km 復 40.2 km	365日	1,568.0回			路線定期運行	①, ②(1)	・地域間幹線系統鶴岡-三川線に鶴岡駅で接続 ・地域間交通ネットワーク羽越本線鶴岡駅と接続	③
		(2) 鶴岡(湯田川温泉)越沢線	エスモール	湯田川温泉	越沢	往 35.0 km 復 34.8 km	365日	1,092.0回			路線定期運行	①, ②(1)	・地域間幹線系統鶴岡-三川線に鶴岡駅で接続 ・地域間交通ネットワーク羽越本線鶴岡駅と接続	③
		(3) こころの医療センター(湯田川温泉)坂の下線	こころの医療センター	湯田川温泉	坂の下	往21.5km 復21.2km	238日	238.0回			路線定期運行	①, ②(1)	・地域間幹線系統鶴岡-三川線に鶴岡駅で接続 ・地域間交通ネットワーク羽越本線鶴岡駅と接続	③
		(4) 鶴岡(湯田川温泉)坂の下線	エスモール	湯田川温泉	坂の下	往18.2km 復18.0km	238日	119.0回			路線定期運行	①, ②(1)	・地域間幹線系統鶴岡-三川線に鶴岡駅で接続 ・地域間交通ネットワーク羽越本線鶴岡駅と接続	③
		(5) 鶴岡(稲生)湯田川温泉線	エスモール	稲生	湯田川温泉	往9.9km 復10.1km	365日	1,020.0回			路線定期運行	①, ②(1)	・地域間幹線系統鶴岡-三川線に鶴岡駅で接続 ・地域間交通ネットワーク羽越本線鶴岡駅と接続	③
		(6) こころの医療センター(稲生)湯田川温泉線	こころの医療センター	稲生	湯田川温泉	往13.2km 復13.3km	238日	186.0回			路線定期運行	①, ②(1)	・地域間幹線系統鶴岡-三川線に鶴岡駅で接続 ・地域間交通ネットワーク羽越本線鶴岡駅と接続	③
		(7) 鶴岡(物産館・加茂水族館)湯野浜温泉線	エスモール	加茂水族館	湯野浜温泉	往21.9km 復21.8km	365日	2,658.0回			路線定期運行	①, ②(1)	・地域間幹線系統鶴岡-三川線に鶴岡駅で接続 ・地域間交通ネットワーク羽越本線鶴岡駅と接続	③
		(8) 鶴岡(物産館・善宝寺)湯野浜温泉線	エスモール	善宝寺	湯野浜温泉	往18.3km 復18.2km	365日	1,753.5回			路線定期運行	①, ②(1)	・地域間幹線系統鶴岡-三川線に鶴岡駅で接続 ・地域間交通ネットワーク羽越本線鶴岡駅と接続	③
		(9) 鶴岡(ヤマザワくしびき店)落合線	エスモール	ヤマザワくしびき店	朝日庁舎	往 17.8km 復 17.9km	365日	1,444.0回			路線定期運行	①, ②(1)	・地域間幹線系統鶴岡-三川線に鶴岡駅で接続 ・地域間交通ネットワーク羽越本線鶴岡駅と接続	③
		(10) 鶴岡-中央高校線	エスモール		中央高校	往1.3km 復1.3km	208日	208.0回			路線定期運行	①, ②(1)	・地域間幹線系統鶴岡-三川線にエスモールバスターミナルで接続	③
		(11) いでは文化記念館-羽黒山頂線	いでは文化記念館	休暇村庄内羽黒	羽黒山頂	往7.6km 復7.6km	365日	1,923.0回			路線定期運行	①, ②(1)	・地域間幹線系統鶴岡-いでは文化記念館前線にいは文化記念館前で接続	③
		(12) 鶴岡市内循環線Aコース	エスモール		エスモール	右14.9km 左14.6km	361日	2,888.0回			路線定期運行	①, ②(1)	・地域間幹線系統鶴岡-三川線に鶴岡駅で接続 ・地域間交通ネットワーク羽越本線鶴岡駅と接続	③
		(13) 鶴岡市内循環線Bコース	エスモール		エスモール	右12.4km 左12.8km	361日	2,888.0回			路線定期運行	①, ②(1)	・地域間幹線系統鶴岡-三川線に鶴岡駅で接続 ・地域間交通ネットワーク羽越本線鶴岡駅と接続	③

		(14) 鶴岡市内循環線C コース	エスモール		エスモール	右14.8km 左14.9km	361日	2,888.0回			路線定期運行	①, ②(1)	・地域間幹線系統鶴岡-三川 線に鶴岡駅で接続 ・地域間交通ネットワーク羽 越本線鶴岡駅と接続	③
	鶴岡市	(15) 羽黒地域市営バス 上川代・小増川線	上川代	ゆぽか	鶴岡駅	往 26.3 km 復 26.3 km	141日	211.5回			路線定期運行	①, ②(1)	・地域間幹線系統鶴岡-三川 線に鶴岡駅で接続 ・地域間交通ネットワーク羽 越本線鶴岡駅と接続	③
		(16) 羽黒地域市営バス 上川代・小増川線	上川代		ゆぽか	往 18.7 km 復 18.7 km	141日	211.5回			路線定期運行	①, ②(1)	・地域間幹線系統鶴岡-いでは文化 記念館前線にゆぽかで接続	③
		(17) 羽黒地域市営バス 今野線	川代山	ゆぽか	鶴岡駅	往 22.8 km 復 22.8 km	148日	222.0回			路線定期運行	①, ②(1)	・地域間幹線系統鶴岡-三川 線に鶴岡駅で接続 ・地域間交通ネットワーク羽 越本線鶴岡駅と接続	③
		(18) 羽黒地域市営バス 今野線	川代山		ゆぽか	往 14.2 km 復 14.2 km	148日	222.0回			路線定期運行	①, ②(1)	・地域間幹線系統鶴岡-いでは文化 記念館前線にゆぽかで接続	③
		庄交ハイヤー 株式会社	(19) 藤島南部地域デマン ド交通		藤島南部地域	往 km 復 km	291日	2,328.0回			区域	②(1)	地域間交通ネットワーク羽越本線藤 島駅と接続	③
	庄交ハイヤー株式会 社 出羽ハイヤー株式会	(20) 藤島地域定時定路線 型交通		藤島地域		往 km 復 km	240日	480.0回			区域	②(1)	地域間交通ネットワーク羽越本線鶴 岡駅・藤島駅と接続	③
	温海温泉観光自 動車株式会社	(21) 温海地域乗合タク シー 戸沢線	強龍寺	あつみ温泉駅前	バラ園	往 18.8 km 復 18.8 km	241日	843.5回			路線定期運行	②(1)	・地域間交通ネットワーク羽越本線 あつみ温泉駅と接続	③
		(22) 温海地域乗合タク シー 平沢線	平沢	あつみ温泉駅前	バラ園	往 23.4 km 復 23.4 km	292日	1,022.0回			路線定期運行	②(1)	・地域間交通ネットワーク羽越本線 あつみ温泉駅と接続	③
		(23) 温海地域乗合タク シー 関川線		温海地域		往 km 復 km	240日	1,440.0回			区域	②(1)	・地域間交通ネットワーク羽越本線 あつみ温泉駅と接続	③

村 交 協 第 30 号  
令和 7 年 11 月 12 日

鶴岡市地域公共交通活性化協議会長 様

村上市地域公共交通活性化協議会  
会長 村上市長 高橋 邦芳

**村上市路線バスの運賃変更について（意見聴取）**

日頃より、本市ならびに当地域公共交通活性化協議会の公共交通施策につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本市では令和 5 年 10 月より、貴市内鼠ヶ関のマックスバリュあつみ店にバス停を設置し、路線バスの運行を行っております。

このたび、当該路線バスの運賃区分につきまして、令和 7 年 12 月 1 日から変更を予定しております。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、内容をご確認のうえ、ご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

なお、特に異議等がない場合は、別紙の同意書にご押印のうえ、ご提出くださいますようお願いいたします。

〒958-8501

新潟県村上市三之町 1 番 1 号

村上市地域公共交通活性化協議会事務局

（村上市企画戦略課 地域交通政策室内）

担当：須貝

TEL 0254-75-8927（直通）

FAX 0254-53-3840

E-mail jichi-sk@city.murakami.lg.jp



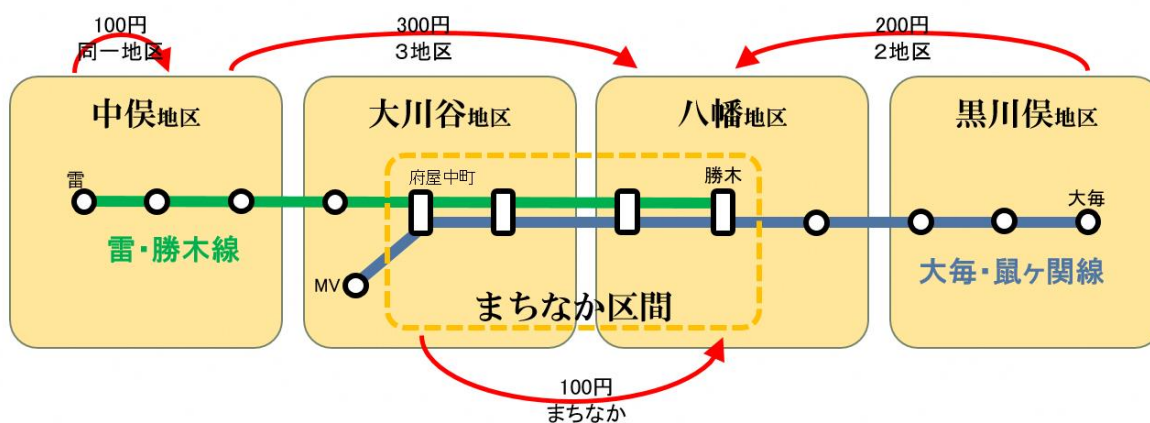
## 報告事項 村上市路線バスの運賃変更について

村上市山北地域では、鼠ヶ関のマックスバリュで買物をする住民が一定数あり、令和5年10月1日から当該施設にバス停を設置し路線バスが運行されている。当該路線バスの運賃区分が令和7年12月1日から変更となる。

### <概要>

#### ○ 現在の運賃

- ①同一地区内は100円、地区をまたぐ毎に100円加算(まちなか区間は100円)
- ②路線乗り継ぎの場合は「乗継券」発行→100円引き
- ③学生・障がい者は半額



#### ○ 改定案

- ①大川谷・八幡地区を一つの地区(エリア)に統合(まちなか区間廃止)
- ②路線乗り継ぎの場合の「乗継券」は廃止
- ③学生割引の廃止

